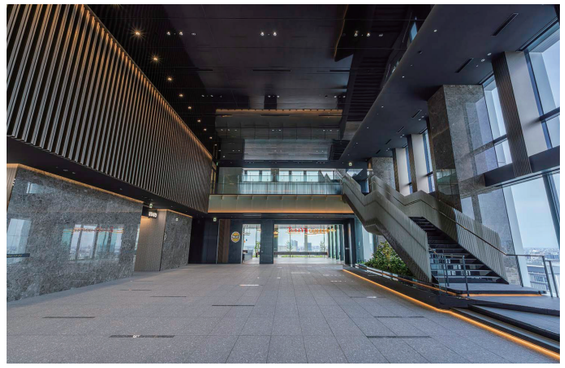
ザ・ランドマーク名古屋栄



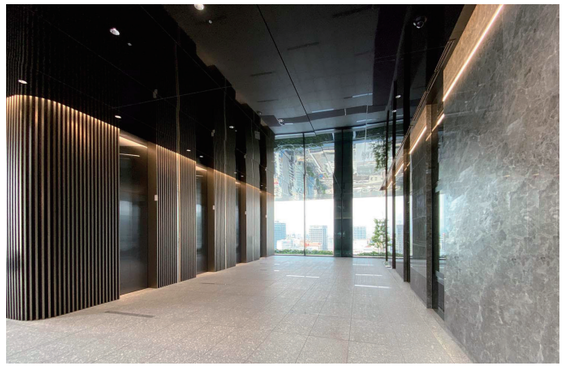
外観

オフィスやラグジュアリーホテル、商業施設、シネマコンプレックスなど多様な都市機能を高度に集積した複合施設。高さ約211mを誇る栄エリア最高層のタワービル。オフィスフロアは、12～30Fに配置されている。



12F スカイロビー

オフィスエントランスとなる12Fスカイロビーは、3層吹き抜けの開放的な空間。コンセプトである「糸」に見立てた象徴的な線形の大階段を配した。栄の眺望が広かるダイナミックで上質な空間である。



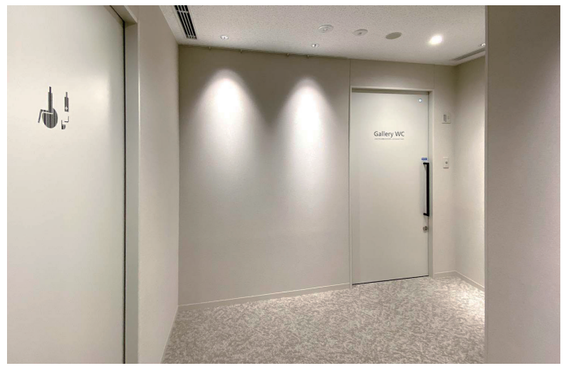
12F エレベーターホール

地下や1Fより、直行のシャトルエレベーターにて、オフィスエントランスとなる12Fのスカイロビーへ。各オフィスへは、12Fでエレベーターを乗り換える。



12F ギャラリートイレ

オフィスエントランスとなる12Fには、男性トイレ、女性トイレ、バリアフリートイレ、さらにギャラリートイレを設置。ギャラリートイレは、性別を問わずだれでも利用することができる。



12F ギャラリートイレ

ギャラリートイレの入口には、同フロアに開校されたインターナショナルプリスクールの園児が描いた絵などを掲示し、ギャラリーとして活用予定。さまざまな利用者がより利用しやすい環境が整えられている。



12F ギャラリートイレ

大きな窓から光が差し込み、リラックスできる空間。ゆったりとした手洗いカウンターと大便器ブースが設置された個室完結型の男女共用トイレとなっている。



12F ギャラリートイレ

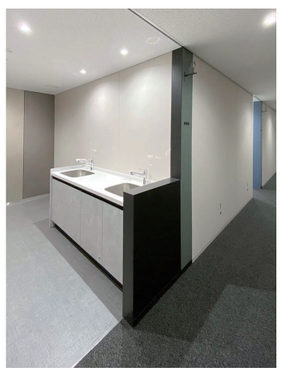
デザイン性と節水性に優れたウォシュレット一体形便器ネオレストASを採用している。



基準階 トイレ入口

オフィスフロア基準階のトイレは、手前からバリアフリートイレ、女性トイレ、給湯室、男性トイレの順に配置。廊下は、シックな落ち着いた空間となっている。





基準階
トイレ入口･給湯室

女性トイレと男性トイレの間に見通しのよい給湯室を設置。2つのシンクが用意されており、飲料熱湯用と洗い物用の水栓を設置している。



基準階
バリアフリートイレ

車いす使用者やオストメイトに配慮して、汚物流しを備えたコンパクト･バリアフリートイレパックを各フロアに設置している。



基準階 女性トイレ
洗面コーナー

大きな窓から光が降り注ぐ、見晴らしのよい洗面コーナー。2段のカウンターでドライエリアを設け、手荷物の置き場所に配慮したツインデッキを採用した。深いボウルで手が洗いやすく、周囲への水はねを抑制できる。





基準階 女性トイレ
スタイリングコーナー

隣人の視線が気にならないように個別鏡を採用し、レイアウトも工夫されたスタイリングコーナー。同時に5名が利用することができ混雑緩和に配慮している。

2026.10 作成　無断複製･転載禁止 ©TOTO LTD. 2026 All Rights Reserved 21346

ザ・ランドマーク名古屋栄



基準階 女性トイレ
大便器コーナー

大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに個室感も高めている。女性トイレはやわらかな雰囲気のブースカラーを用いている。



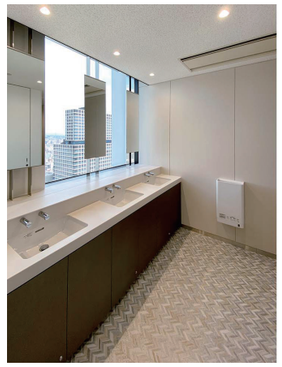
基準階 女性トイレ
大便器ブース

大便器は床の清掃性がよく、連続洗浄可能な壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を設置。4ヶ所設けられた大便器ブースは、さまざまなバリエーションを揃えており、うち1ヶ所にはL型手すりを備えている。



基準階 女性トイレ
大便器ブース

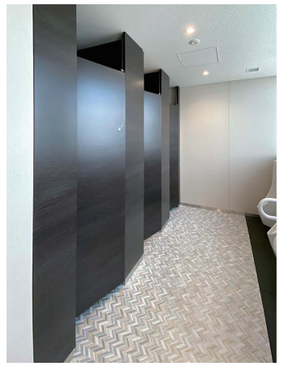
すべての大便器には、手を触れずに洗浄が可能なセンサースイッチを採用。こちらのブースでは、着替えなどのためのフィッティングボードを備えている。



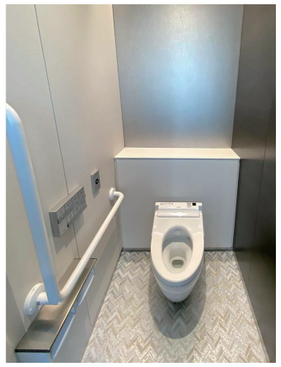
基準階 男性トイレ
小便器・洗面コーナー



女性トイレと同様に、大きな窓から明るい光が差し込むトイレ空間。洗面コーナーの水栓は、非接触で手洗いができる自動水栓と自動水石けん供給栓を採用。床の清掃性に優れた、壁掛型の自動洗浄小便器を設置している。



基準階 男性トイレ
大便器コーナー

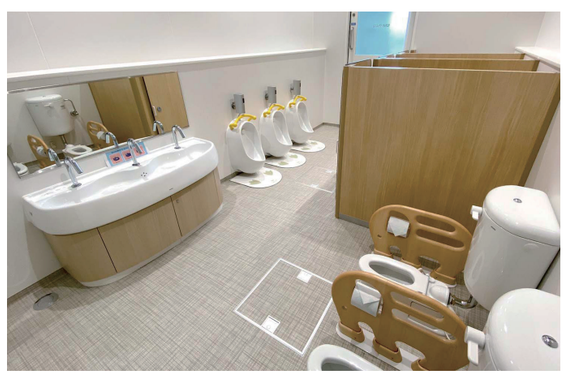


男性トイレは、落ち着きを感じさせるブース材を採用し、シックな空間を演出している。



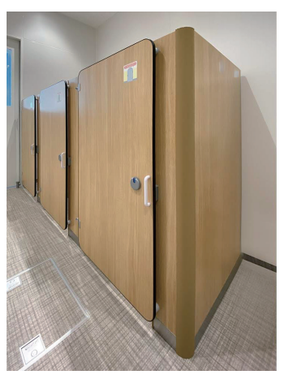
12F HEI Schools
Nagoya Sakae

12Fには、フィンランドの国際教育カリキュラムとヘルシンキ大学の研究に基づいた、インターナショナル プリスクールが開校。一時預かりにも対応し、急な予定や短時間利用にも活用できる。

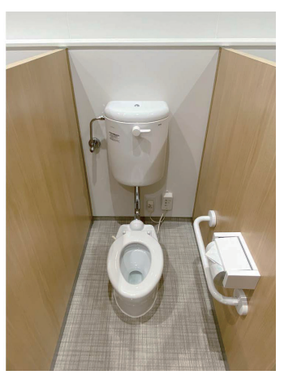


12F HEI Schools
Nagoya Sakae
園児用トイレ

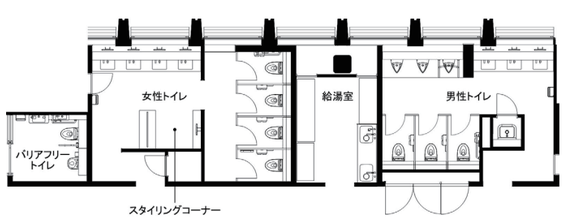
園児用トイレには、お子様のトイレトレーニングをサポートする器具を設置。衛生面に配慮して、幼児用小便器の足元にはフットマーク付きで抗菌効果のある、ハイドロセラ・フロアキッズを採用している。



12F HEI Schools
Nagoya Sakae
園児用トイレ



3-5歳児用の幼児用大便器を採用したブースの壁は、見守りができる高さに設置している。



基準階 トイレ図面

水まわりの特長

建物の特徴

「世界と人とまちをつむぐ"文化・交流価値創造拠点」をコンセプトに掲げ、オフィスやラグジュアリーホテル、商業施設、シネマコンプレックスなど多様な都市機能を高度に集積した「ザ・ランドマーク名古屋栄」。高さ約211mを誇る名古屋栄エリア最高層の複合施設であり、都市の魅力向上および国際競争力強化への寄与を目指している。外装デザインは「紡ぎ、織りなし、纏う」をコンセプトに、名古屋・中部地域が培ってきた繊維産業や栄の街並みに見られる多様な要素の重なりをモチーフとしている。オフィスフロアは眺望に恵まれた12F～30F。レイアウト効率がよく、さまざまな働き方に対応する無柱空間に、ラウンジやコワーキング、カンファレンスなどの機能も整備され、入居企業のビジネス促進に貢献する。

トイレの特長

基準階のトイレは、ロケーションを活かし、見晴らしのよい大きな窓から光が降り注ぐ、業務の合間にリフレッシュすることができる空間。各フロアには、男女別トイレのほか、バリアフリートイレを配置。また、オフィスエントランスとなる12Fには、さまざまな利用者に配慮して性別を問わず利用できる、ゆったりとした空間のギャラリートイレも設置している。ギャラリートイレの入口には同階に開校されたインターナショナルプリスクールの園児が描いた絵などを掲示して、ギャラリーとしても活用する予定で、さまざまな利用者がより利用しやすい環境が整えられている。インターナショナルプリスクールの園児用トイレには、お子様のトイレトレーニングをサポートする器具を採用している。

建築概要

名称	ザ・ランドマーク名古屋栄
所在地	愛知県名古屋市中区錦3-25-1
事業者	三菱地所株式会社
	J.フロント都市開発株式会社
	日本郵政不動産株式会社
	明治安田生命保険相互会社
	株式会社中日新聞社
設計	株式会社三菱地所設計
	株式会社竹中工務店
施工	株式会社竹中工務店
竣工年月	2026年3月
敷地面積	4,866.40㎡
延床面積	109,746.42㎡
構造・階数	鉄骨造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造・
	地下4階、地上 41階、塔屋1階

おもなTOTO使用機器

ウォシュレット一体形便器ネオレストAS:CES9710系
大便器ユニット:UTNCA系
ウォシュレットPS（擬音装置「音姫」付きエコリモコン）:TCF5534系
棚付二連紙巻器:YH702
チャームボックス（汚物入れ）:YKB104
小便器ユニット:UTNUBN
ハイドロセラ・フロアPU:AB690BR
洗面器ユニット: UTNLCC
洗面器:LS707
台付自動水栓:TLE25SL1A
自動水石けん供給栓:TLK08S12JA
クリーンドライ（ハンドドライヤー）:TYC420W
バリアフリーユニット:UTNDAA
幼児用大便器:CS300B+S300BK、CS310B+S300BK
幼児用小便器:U310GY
ハイドロセラ・フロアキッズ:AB545KA
幼児用マルチシンク:SKA300系
フィッティングボード:YKA41R
LED照明付鏡（化粧照明タイプ）:EL80017
パブリック用手すり:T112CL10、T112CU22

2026.10 作成　無断複製・転載禁止 ©TOTO LTD. 2026 All Rights Reserved 21346